

令和6年度第2回印西市史編さん委員会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和7年3月12日（水）午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所 中央公民館 3階学級講座室
- 3 出席者 榎委員、木村委員、大友委員、伊藤委員、石井委員
- 4 欠席者 高花委員
- 5 事務局 飯島（正）生涯学習課長、能勢木下交流の杜歴史資料センター所長、朝長主査
- 6 傍聴者 0人（定員5名）
- 7 議題 (1) 令和6年度市史編さん事業報告について
(2) 令和7年度市史編さん事業計画（案）について
(3) 別編 民俗の市史刊行計画の変更について

課長あいさつ

議事録署名委員の選出 石井委員を選出

議事録は、要点筆記で作成し、校正の際には、発言内容に齟齬がないように署名委員に確認をお願いします。

議事（榎委員長が議長として議事進行）

議題（1）令和6年度市史編さん事業報告について

議長 議題の（1）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、ご説明いたします。

会議といたしましては、市史編さん委員会を、本日を含めまして2回実施いたしました。第1回は、令和6年9月26日（木）、第2回は、本日令和7年3月12日（水）でございます。

事業の刊行事業では、（1）市史編さん専門委員による活動ですが、編集会議につきましては、3名委嘱しておりますが、1名病気、1名遠方ため、開催調整

ができず、未開催となっております。各専門部会ですが、近世部会の会議を1回開催しましたが、3月にもう1回開催します。委員の増員をする予定です。中世部会は、会議を3回行い、その他に調査、データ整理などを進めており、3月23日、24日に職員2名で関市宗休寺に行きます。中世部会には、情報提供する予定です。活動の実績については3月末に確定いたします。配布資料に記載しておりませんが、12月6日に令和7年度の活動開始に向けて民俗の作業について、榎委員長と事務局で、作業スケジュールの検討を行いました。議題3で改めて説明させていただきます。作業スケジュール案を受けて事務局においては話者の選定や提供資料の準備などを進めました。

市史刊行ですが、市史研究誌『印西の歴史』第15号を刊行いたします。構成は、資料1の(2)に記載のとおりでございます。

その他、歴史資料の収集及び整理・保管事業では、古文書等史料の整理保管を行いました。詳細につきましては、資料1・2頁下から3頁中段あたりをご参照ください。令和6年度新規にご寄贈いただいた資料は、昨年夏に開催した香取秀真展を契機に、秀真に関する資料を寄贈いただき、ほかには吉植庄亮に関する資料、印旛高校に関する資料などを受け入れております。また、図書館に協力いただき地域情報誌や広告等の収集を行いました。3月に入ってから寄贈申し出をいただいたものがございますので件数は増える予定です。

古文書の整理では、平成29年度から行っております木下・宝田家文書をはじめとして、その他収蔵資料の目録作成などの整理を行いました。

資料の保存といたしましては、環境調査の実施及び資料燻蒸、旧宗像小学校に移動した資料の管理を行いました。環境調査の結果は、概ね良好で出入口付近に虫の侵入防止対策を行っております。旧宗像小学校は、湿度が冬季でも高いため文化財用の防虫、防カビシートを収納箱に挿入して対策しています。歴史公文書の引継及び整理保管といたしましては、令和6年3月31日に保存期間満了を迎えた文書について5～6月に収集選別評価を行い、45箱を歴史公文書として引き継ぎました。配布資料には6～7月実施と記載してございますが、正しくは5

～6月となります。そのほか、各課で作成する行政資料を収集しております。図書資料は、他機関から寄贈された図書や購入図書の受入・整理・保管を実施しました。

普及事業として、歴史資料センターの展示事業としては、令和7年2月末時点で年間286日の開館で、常設展示を行い、見学者数は2,505人です。

市史講座等の開催として、6月15日に通史編近現代の刊行を記念して執筆いただいた近現代部会委員3名の方に講師をつとめていただき、市史編さん講演会を開催し、48名の参加がありました。また、市史編さん講座では「草深の狂歌人 香取百合丸『奥州湯岐盤城温泉紀行』を読む」を3回講座として行いました。16名の申し込みがあり、のべ43名が受講しました。

展示説明は4件ございました。団体見学では10月、11月に近畿日本ツーリスト主催クラブツーリズムのコースになり、2回にわたり、大型バスでの来館がありました。利用者の申請や問い合わせに応じて、保管資料の活用や市史情報の提供を行いました。

ほかに市史情報の提供としまして『広報いんざい』に「ふるさと探訪タイムスリップ・インザイ」に印旛歴史民俗資料館と交互に執筆しました。

市史刊行物は、市内公民館や資料館など9か所で有償頒布を実施しておりますが、今年度は本埜公民館の改修工事による休館のため8か所で実施いたしました。2月末までに253冊の有償頒布がございました。今年度は6月1日から通史編近現代の有償頒布を開始し、また、市史をより多くの方に知ってもらおうということで、頒布を実施していない印旛支所、本埜支所、滝野出張所、子育て支援課の協力のもと移動販売を行いました。市についての歴史の案内から市史の頒布につながった例もありましたので、引き続き続けて行きたいと思います。さらに、市役所本庁ロビーにおいても案内展示を始めました。ロビー近くには市政情報コーナーがあり、従前より市史刊行物を配架しておりますが、一般の方が目にするのが少ないことから別途案内展示の開始に至りました。また、関係団体への参加といたしまして、千葉県史料保存活用連絡協議会への参加及び理事として

の活動を行いました。オンラインで地方史研究協議会の研修会に参加いたしました。説明は以上となります。

議長 ただいまご説明いただきましたことについて、質問・意見などありますか。

委員 中世部会の中に関善光寺へ視察に行く話があったが、初めて伺いました。先方と連絡が取れたということですか。事務局が調整がつかないということだったので11月に個人的に行ってきました。関市立図書館でも調べてきましたが、仏像を印西から持っていたということだけでした。市史の中世の資料編では、対象から外すことをお話していますが、どういうことでしょうか。

事務局 視察に行くということの報告が今日になってしまい、申し訳ありませんでした。市としても一度、関善光寺に行き、記録を残しておくべきだと考えました。

事務局 関市関係との顔つなぎという意味合いもあります。

委員 印西の歴史15号の刊行は、いつ頃完成になりますか。

事務局 3月31日納品で準備を進めています。

委員 旧宗像小にはどういったものを持って行っているのですか。

事務局 歴史公文書になります。

委員 公開している会議は、市史編さん関係の会議では、この会だけですか。

編集委員会が公開でないならば、オンラインでの開催が出来るのではない
か。遠方だから会議が開催出来ないということは、なくなるのではないで
しょうか。

事務局 貴重な意見ありがとうございます。

事務局 中世部会ではすでにオンラインで行った例もあるので今後も活用していきたいと考えています。

委員 歴史公文書の保管場所については、後どのくらい置き場所がありますか。

事務局 3年程度は歴史資料センター内での保管で大丈夫だとは思いますが、不足する事態は考えられます。歴史文化施設建設計画の中で新施設で対応という計画でしたが、方向性が決まっていない状況です。

事務局 印西市の公共施設の配置方針の見直しの検討をしています。歴史文化施設基本計画を作成しましたが、場所、規模が決まっています。

委員 デジタル化を進めていったらどうでしょうか。新施設と並行して考えたらどうでしょうか。

委員 今あるものを守っていきながら、デジタル化をしていくと利活用につながっていくのではないかと思います。

委員 貴重な意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。

委員 使用頻度が高いものは、貸し出す際にコピーを必ず取ってもらい、データとして使用したものは、こちらでももらい、お金をかけないでデータ化していく方法もあります。芸事、神事は、手遅れにならないように早目にデジタル化をお願いしたいと思います。

委員 ビデオ等のデジタル化も難しくなっていると世間では聞きます。

委員 歴史資料センターではどういったものを保管していますか。

事務局 今、考えつくところだと、民俗調査時に聞き取りしたカセットテープの音声記録が多くあります。あとは、行政文書の中に含まれています。貴重な記録が残されていると思います。

委員 今後始める民俗調査の時にすみ分けも協力できると思いますので、できるところから進めていきましょう。

議長 議題（１）『令和６年度事業報告について』はご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【うなずきあり】

議長 ありがとうございます。議題（１）『令和６年度事業報告について』は了承されました。

議長 それでは、議題の（２）令和７年度市史編さん事業計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

議題（２）令和７年度市史編さん事業計画（案）について

議長 議題の（２）について、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料2の1ページをご覧ください。まず会議といたしまして、市史編さん委員会は3回、6月ごろ、9月ごろ、3月ごろを予定しております。事業といたしましては、刊行事業では、市史編さん専門委員による専門部会の活動を予定しております。令和7年度は民俗及び原始・古代の各専門部会の委員を委嘱し、活動開始を予定しております。編集会議につきましては、民俗、原始・古代部会委員の委嘱後に開催を予定しております。近世部会については、体制を見直し、6名程度増員して作業にあたる方向で調整しております。中世部会については、資料編の原稿執筆及び編集を進めるとともに調査未了の石塔等の調査も実施してまいります。原始・古代部会については、委員を委嘱し、調査・分析等の作業と並行して刊行スケジュールを検討いただき、現在の刊行計画における刊行年度の重複等の解消を図ってまいりたいと考えております。民俗部会についても原始・古代部会同様、委員を委嘱し、調査・分析等の作業に着手する予定です。

市史刊行につきましては、市史研究誌『印西の歴史』第16号の刊行を予定しており、原稿は、広報いんざいや市ホームページなどで投稿原稿を募集いたします。

3 その他でございますが、2が正しい表記となりますので訂正いたします。

(1) 歴史資料の収集及び整理・保管事業といたしまして、古文書、新聞資料、地域資料の収集や、すでに保管しております資料の整理を行ってまいります。また、新規受入資料などの資料燻蒸、温湿度計測、歴史公文書につきましては、5～6月の文書廃棄時に収集選別を行います。市役所の文書主管課である総務課文書係と連携をとって進めていきます。また、各種行政資料も随時収集整理保管する予定です。図書資料につきましては、他機関から寄贈される図書等を整理してまいります。

(2) 普及活用事業につきましては、展示事業では通年の歴史資料センターの常設展示のほか、8月頃に新収蔵資料展の開催を予定しております。常設展示では希望者に展示説明を行う予定です。

市史編さん講演会は10月25日（土）文化ホールの多目的室にて講師に橋本勝雄氏をお迎えして演題「（仮題）印西地域の旧石器文化」を開催する予定です。講師を予定している橋本先生は『印西の歴史』第14号に東海道遺跡出土の大形ナイフ型石器について執筆をされております。

市史編さん講座は、具体的な実施時期、内容は決まっておりますが、古文書などのくずし字に触れながら歴史資料の保存、市域の歴史や文化を学ぶことができる内容を検討しております。市史刊行物は、引き続き頒布をしております。

令和7年度は印西の歴史第15号が頒布開始となります。頒布価格は未決定です。

なお、翌年度の令和8年度はセンター開所10周年にあたるため、市史を広く知ってもらおうきっかけとするような企画を考えていきたいと考えております。ほかに、保管資料の活用や、市民からの問い合わせに対応していきます。

（3）その他でございますが、千葉県史料保存活用連絡協議会にも引き続き参加をいたします。また、必要に応じて専門研修等への参加をしております。

関係団体ですが、木下まち育て塾と平成29年度より第2次調査を実施している木下・宝田家文書の活用事業について検討を進めていく予定です。木下まち育て塾には古文書所有者も塾生で参加されており、整理経過などを情報共有しながら、計画を立案していく予定です。展示、図録の刊行、講座開催等が想定しております。木下・宝田家文書は古文書だけでなく、民俗資料に含まれるような「モノ」資料も含めて現在、約30,000点を数えております。説明は以上です。

議長 ただいまご説明いただきましたことについて、質問・意見などありますか。

委員 手賀沼排水機場が新しく建設工事に入るが、今の機場を建設した当時の映像記録が残っている。個人では、要望できないので、国に市から働きかけて欲しい。

事務局 後でもう少し詳しくそのお話を伺いたい。対応して行きたいと考えている。

委員 刊行計画について実行していくにあたって、市としての考えをお聞きしたい。

事務局　　今までのやり方にいきずまりを感じてはいます。委託をするなど良い方法を探して計画通りにいくようご協力をいただきながら進めていきたいのでよろしくをお願いします。

議長　　議題（２）『令和７年度市史編さん事業計画（案）について』はご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【意義なしという声あり】

議題（３）別編　民俗　刊行計画の変更（案）について

議長　　議題の（３）について、事務局より説明をお願いします。

事務局　　ご説明させていただきます。

この刊行計画は、平成２５年に改正した印西市史編さん基本方針中の第二次刊行計画であり、この一部を変更するものでございます。資料３－１をご覧ください。刊行計画の変更案でございます。資料３－２をご覧ください。現行の刊行計画でございます。変更内容でございますが、別編の民俗を全体として３カ年先送りとします。変更理由でございますが、民俗を担当される委員より、現行計画では刊行に必要な調査等が間に合わないことから３年間の計画変更の要望があったものでございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長　　ただいまご説明いただきましたことについて、質問・意見などありますか。

委員　　本埜を埜原と本郷に分けたのは、どうしてなのか考えを聞かせてください。

事務局　　印西と印旛には、民俗に関する本が刊行されているが、本埜だけ調査も一度も行っていないので最初から調査に入るということでそのような分け方をした。

委員　　あえて分けるという書き方をしなくてよいのではないのでしょうか。

事務局　　（民俗編）刊行計画の表は、地区名を除き、他と同じに書き方を変更するで了承いただけますか。

【了承の声あり】

事務局　　無形文化財の公開も難しくなっている状況もあります。

委員　　聞けるときに聞いておくというのが大切ではないかと思います。

委員 新しい文化施設に期待しつつ、市の大きなビジョンの中でどうしていくか未来を見据えて取り組んで欲しいです。

事務局 新市長は世界モデルということを掲げています。我々もポテンシャルは高く持ちたいと思っています。未来のニーズに活用されるような歴史資料施設を造らなければいけないと考えています。都市的利便性だけでなく心の豊かさを求めて、印西市に引っ越してくる方が多い状況です。そういう方にとっても文化、芸術的なことは重要なことになってきます。

委員 市史編さんはそういったことのベースになってきます。

事務局 まちづくりのベースになるということですね。

議長 議題（３）『別編民俗 刊行計画の変更』はご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【意義なしという声あり】

議長 すべての議案審議が終了しましたので、ここで議長の任を解かせていただきます。

事務局 委員長、議事進行ありがとうございました。

以上を持ちまして、本日の会議を閉会します。委員の皆様には長時間にわたる慎重審議、ありがとうございました。

その他 事務局より報告

令和７年度４月１日から生涯学習課から分かれて、文化振興課を新設します。同じく４月１日から供用開始されるコスモスパレットに文化芸術関係のホールが設置されています。

令和６年度第２回印西市史編さん委員会の議事録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和７年３月２５日

印西市史編さん委員会

議事録署名委員 石井 秀昭